

うみねこ

ガスタービン発電機火災について(お詫び)

さる8月19日に当所で発生しました火災事故に際しましては、地域の皆様に大変なご迷惑・ご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 事故の概要

8月19日(日)22時35分頃 第2ガスタービン複合発電装置の3号ガスタービン発電機室内において火災を発見、直ちに公設消防に通報するとともに、自衛防災組織が出動しました。そして、0時35分に公設消防による鎮火が確認されました。

鎮火後の現場検証により、ガスタービン本体内にある燃焼用空気を調整する弁の作動用油圧配管の継ぎ手部内で配管が破断していることが確認されました。この破断部から配管内の作動油(潤滑油)が漏洩し、発災したものと推定しております。

2. 破断の原因

作動用油圧配管の破断は振動による疲労破壊でありました。振動が発生した理由はタービン回転数成分と固有振動数が一致することにより生じる「共振」によるものです。

3. 着火源

一般的に、着火源としては、①裸火、②電気・衝撃火花、③自然発火、④落雷、⑤高温物体、⑥静電気が考えられますが、当時の状況は①～④の原因になるようなもの(条件)は周囲にはなく、漏洩した作動油がガスタービンの高温部に接触し自然発火した可能性があります。また、高圧の作動油が漏洩の際、高い流速でミスト状に飛散する形となって帯電し、それが放電することで着火し、火災が発生した可能性もあります。

火災が発生した3号ガスタービン下部のごく限られた範囲に煤状の汚れを確認しましたので、火災は瞬間的なものであったと推定しております。

4. 再発防止策

再発防止策につきましては、振動を許容値以下に抑えるためのサポート(固定具)を増設しました。また、万一作動油が漏洩しても高温部に達しないように飛散防止カバーを設置しました。

今後、同様のトラブルを起こさないよう、事故の再発防止・未然防止に向けて、製油所を挙げて全力で取り組んでまいりますので、引き続きご理解、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



JX日鉱日石エネルギー株式会社 仙台製油所



〒985-0901 仙台市宮城野区港5-1-1
電話番号 022-363-1122、フリーダイヤル 0120-330-201
<http://www.noel-jx-group.co.jp/company/about/gaiyou/jisyousho/sendai/index.html>

「七ヶ浜町グラウンド・ゴルフ大会」開催



9月2日(日)、七ヶ浜町の皆様を対象に『ENEOS親善スポーツ大会七ヶ浜町グラウンド・ゴルフ大会』を、七ヶ浜町グラウンド・ゴルフ協会主管のもと開催しました。弊所からも所長をはじめ4名が参加し、総勢68名により七ヶ浜町野球場を会場に熱戦が繰り広げられました。

震災以前は、七ヶ浜町中公民館を会場にパターゴルフ大会を開催しておりましたが、会場の確保ができないため、今回初めてグラウンド・ゴルフ大会を開催したものです。当日は、厳しい残暑の中でしたが、選手の皆様は、日頃鍛えた腕前を存分に発揮されておりました。

タンク車出荷再開

昨年の震災により、タンク車専用線路(引込線)や出荷設備が損壊するなど、甚大な被害を受けたため、タンク車出荷は休止しておりましたが、今般、復旧が完了し、9月7日から出荷を再開しました。

タンク車出荷設備は、専用線路の立地を考慮すると高台(東地区)などへの移設は困難であり、震災前と同じ場所に復旧しましたが、近傍に新設したタンク車計器室建屋は、津波対策として3階建てとし、出荷設備等をコントロールするコンピュータなど重要な機器は3階に配置するとともに、屋上に避難場所を確保しました。

